

(別紙様式1-2)

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和6年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 さぬき市立津田小学校
(2) 所在地 香川県さぬき市津田町津田1 4 4 番地
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (令和6年4月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援学級	児童生徒数計	教員
1学級 19名	1学級 16名	1学級 27名	1学級 34名	1学級 27名	1学級 20名	2学級 7名	150名	13名

2 研究主題等

- (1) 研究主題 学びを自分ごととしてつなぐ児童の育成（2年次）
～ともにによりよく生きる地域道徳教育～

(2) 研究主題設定の理由

本校では、令和6年度香川県小学校教育研究会道徳部会研究発表会に向けて、令和4年度から学校教育目標である『ふるさと津田町を愛し、夢に向かってチャレンジする子どもの育成』のもと、「特別の教科 道徳」の授業改善を行ってきた。令和5年度から、研究主題を『学びを自分ごととしてつなぐ児童の育成』とし、これまでの学びを「自分ごとの学び」の視点で見直し、研究を進めている。また、道徳教育の要として、ふるさとの豊かな自然や文化について再認識するとともに、それらを生かし、これからの「津田町」を学校・家庭・地域が共創していく地域道徳教育を推進するために、副主題を『ともにによりよく生きる地域道徳教育』と設定した。

(3) 研究内容及び方法

- ①道徳教育の要として他教科等や家庭・地域社会と連携しながら地域道徳教育を構想し実施する。
- 各教科、総合的な学習の時間や特別活動の学校行事等における体験活動など、それぞれの特色を生かし、「特別の教科 道徳」との関連を図ることができるカリキュラムマネジメントの推進
 - 自分の役割を自覚し、他者を尊重し合うペア学年との交流（なかよし班活動）の充実
 - 異校種（こども園・中学校・高等学校）や地域のボランティアの人たちとの交流を通して、地域課題について主体的に関わる活動の創造と推進、及び、ふるさとの特色を生かした地域教材の開発
 - 「津田町が好き」という思いを深めるための取組
 - 家庭・地域社会とのつながりを深める「道徳の日」の充実
- ②「単時間道徳学習」の在り方を、「自分ごとの学び」の視点で見直し、授業を工夫し、質的改善を図る。
- 単時間道徳学習の授業改善
 - 自分の心を育てることを意識した個人内評価の工夫
 - 全職員で「自分ごとの学び」の姿を共有し、それが見られた授業実践の交流
 - 「ふるさと香川」や「新ふるさとの心」（県教育委員会作成）を活用し、「自分ごとの学び」となるよう地域の実態に応じた内容に再構成

3 成果の評価計画（検証方法）

- 全国学力・学習状況調査や香川県学習状況調査の質問紙調査の分析
- 児童と保護者に実施する道徳アンケート調査の分析

4 研究成果の普及方法

- 現職教育として行う授業の公開
- 令和6年度香川県小学校教育研究会道徳部会研究発表会での提案及び提案授業と冊子の作成、配布